

授業科目、担当者（実務経験のある教員等含む）及び時間数の一覧

2023 年度

学校名	専門学校金沢美専
学科名	美容学科(1年)

単位時間

区分	科目名	教員名	実務経験 の有無	1年次		2年次		合計
				前期	後期	前期	後期	
授業科目及び授業時間数表	関係法規・制度	高西 直正			30			30
	衛生管理	小島 光世	○	30	30			60
	保健	水本 健一	○	30	30			60
	香粧品化学	滝口 大輔	○		30			30
	文化論	田中 美紀	○	30				30
	美容技術理論	滝口 大輔	○	60	30			90
	運営管理	表 康子	○		30			30
	美容実習	田中 美紀	○					330
	ワインディング	小島 光世	○	120	30			
	アップ基礎	水本 健一	○	30				
	メイク基礎	滝口 大輔	○	30				
	カット基礎	泉谷 愛子	○	30				
	サロンワーク基礎	表 康子	○	30	60			
	美容総合技術	田中 美紀	○					180
	<共通> 共通技術	水本 健一	○		60			
	<ヘアスタイリスト> カット応用 I	滝口 大輔	○		30			
	選 <ヘアスタイリスト> アシスタント実務 I	泉谷 愛子	○		90			
	択 <ブライダル・ヘアメイク> ブライダルスタイリスト実務 I	表 康子	○		60			
	<ブライダル・ヘアメイク> メイク応用 I	濱中 佑子	○		60			
	美容演習	田中 美紀 水本 健一 泉谷 愛子 表 康子	○	30	60			90
	小 計（単位時間）				420	510		
一般教養	キャリア・デザイン	作本 智美 泉谷 愛子		30				30
	接遇・マナー	小島 光世	○	30				30
小 計（単位時間）				60				60
合 計（単位時間）				480	510			990
うち、実務経験のある教員の時間数（単位時間）				450	480			930

作成者:高西直正

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
関係法規・制度（後期）		美容学科/1年	2023/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	高西 直正
授業の概要				
美容師の業務は公衆衛生上の観点から法的規制のもとにあることから、行政機関による指導の下で、法令を遵守した業務遂行の重要性を学び、美容師志望者に対して必要な法的規制の内容・仕組み等を教科書「関係法規・制度」に準拠して学修する。				
授業終了時の到達目標				
美容業務に対する公衆衛生上における必要な規制内容等の抽象的な事項について、実務上の美容業務の遂行課程での具体的な場面や具体的な事項等として理解し、説明できる				
実務経験有無		実務経験内容		
無				
時間外に必要な学修				
講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。				
回	テーマ	内容		
1	関係法規・制度のガイダンス 法制度の概要	関係法規・制度の概要・授業手順、日本における法制度の概要について学修する		
2	衛生行政の概要・分類等	衛生行政の概要・分類 衛生行政を担う行政機関について学修する		
2	美容師法の目的等	保健所の法的な根拠・役割等と美容師の目的を学修する		
3	美容師に関する規定等	美容師に関する法的な規制、美容師試験の概要等を学修する		
4	第1次既習部分の復習・確認テスト	既習部分の復習と練習問題Ⅰ（確認テスト）の施行		
5	美容師免許等	美容師免許の意義、免許の仕組み、免許の資格条件等を学修する。		
6	美容師の美容師法上の義務	美容師業務上遵守すべき事項、免許取得後の変更等の手続きを学修する。		
7	行政処分等	美容師に対する行政処分等及び管理美容師制度について学修する。		
8	美容所の開設届等	美容所の開設届出等と美容所の検査確認、美容所開設者の地位の承継を学修する。		
9	第2次既習部分の復習・確認テスト	既習部分の復習と練習問題Ⅱ（確認テスト）の施行		
10	開設者が講ずべき衛生措置等	開設者が常に講じておくべき措置、例外的な美容所以外での業務を学修する		

回	テーマ	内容		
12	環境衛生監視員による立入調査	立入検査、環境衛生環境衛生監視員、法規制違反者等に対する行政処分を学修する		
13	不利益処分・罰則等	不利益処分・審査手続等、美容師法の罰則・両罰規定を学修する		
14	美容業の関係法規	美容業の運営・衛生・消費者保護等に関連する法律を学修する		
15	第3次既習部分の復習・確認テスト	既習部分の復習と練習問題Ⅲ（確認テスト）の施行		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
関係法規・制度 公益社団法人日本理容美容教育センター		確認テスト 期末試験	30.0% 70.0%	

作成者:小島 光世

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
衛生管理(前期)		美容学科アドバンスドスタ ディコース/1年	2023/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	小島 光世
授業の概要				
公衆衛生とは何か。公衆衛生の実態・保健所の役割、保健についての基礎知識を環境衛生について、健康を維持するためには、生活習慣の適正化を図る。必要がある事なども学修する。衛生分野を学修し、併せて美容業を修得する。				
授業終了時の到達目標				
美容業は公衆衛生の向上に努めなければならない、そのため知識・理解を深め美に関わる職業人の自覚を作る。 環境が及ぼす健康の影響を知ることで、社会人として適切な行動を修得。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		美容サロンで20年近く勤務し、また5年以上店長として運営及び経営に従事する。		
時間外に必要な学修				
講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。				
回	テーマ		内容	
1	公衆衛生の概要① 公衆衛生の意義と課題		美容師にとって欠かすことのできない公衆衛生について考える。	
2	公衆衛生の概要② 公衆衛生発展の歴史		公衆衛生の発展及び理容業美容業と関連あるある消毒法の歴史を知る。	
3	公衆衛生の概要③ 美容師と公衆衛生 保健所と美容業		理容師・美容師と公衆衛生、保健所と理容業・美容業の関わりを理解する。	
4	保健① 母子保健		母子保健について学ぶ	
5	保健② 成人・高齢者保健		死亡率・平均寿命・生活習慣病について理解を深める。	
6	保健③ 成人・高齢者保健		健康増進対策・がん・循環器疾患について理解をする。	
7	保健④ 成人・高齢者保健		糖尿病・COPD・アルコール・身体活動・運動などについて理解する。	
8	保健⑤ 成人・高齢者保健 公衆衛生まとめ		高齢者の保健と福祉 精神保健について理解をする。公衆衛生について小テスト	
9	環境衛生① 環境衛生の概要		環境衛生の概要、目的と意義、活動について理解を深める。	
10	環境衛生② 空気環境		空気と健康について理解を深める。	
11	環境衛生③ 衣服・住居の衛生		衣服、食物、住居と健康との関わりについて。体温調節、採光と照明・換気・冷暖房。	

回	テ ー マ	内 容		
12	環境衛生④ 上・下水道と廃棄物	上下水供給 一般廃棄物・産業廃棄物。		
13	環境衛生⑤ 衛生害虫・環境保全	衛生害虫 ネズミ 環境保全 水質汚濁。		
14	環境衛生⑤ 環境衛生まとめ	環境衛生についての理解を深めるため小テスト		
15	公衆衛生・環境衛生のまとめ	公衆衛生・環境衛生について総復習		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
衛生管理 公益社団法人 日本理容美容教育センター		期末試験 確認テスト	80.0% 20.0%	授業の前後には、 予習復習をして習熟を図る事。

作成者:小島 光世

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
衛生管理(後期)		美容学科アドバンスドスタ ディコース/1年	2023/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	小島 光世
授業の概要				
生活の中に関連する疾病の原因も歴史から紐解き、法律と人が貢献している過去を知る。微生物の種類・構造・生態・特徴を理解し、感染症についても学修する。併せて自分自身でできる予防法も考察する。				
授業終了時の到達目標				
感染症の原因である微生物の理解をすることにより、感染症罹患者及び生活環境に対して、適切な対処方法を取ることができるようになる。新興感染症・再興感染症に関しても理解を深め、これらの理解に基づき、安全で適切な接客方法が考え付くよう修得する。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		美容サロンで20年近く勤務し、また5年以上店長として運営及び経営に従事する。		
時間外に必要な学修				
講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。				
回	テーマ	内容		
1	感染症総論 人と感染症①	疾病の歴史、感染症発見の歴史、感染症と法律について理解する。		
2	感染症総論 人と感染症②	感染症の分類について①法律上の分類		
3	感染症総論 人と感染症③	感染症の分類について②病原体の侵入経路の分類 ③病原体別の分類		
4	感染症総論 病原微生物①	病原微生物について理解する①(微生物の種類・形)		
5	感染症総論 病原微生物②	病原微生物について理解する②(大きさ・構造)		
6	感染症総論 病原微生物③	感染症の予防について理解する。(予防・常在細菌叢・免疫・予防接種) 感染症発生の要因について理解をする。		
7	感染症総論 病原微生物④	感染症発生の要因について理解をする。 感染症予防の三原則について理解をする。		
8	感染症総論まとめ	感染症総論についてのまとめの小テスト		
9	感染症の各論 理容業・美容業と感染症	美容の業務を通じて感染しやすい感染症について理解をする。		
10	感染症の各論 主な感染症①	空気・飛沫を介して感染する感染症		
11	感染症の各論 主な感染症②	飲食物・血液等を介して感染する感染症 動物・節足動物を介して感染する感染症		

動

回	テ ー マ	内 容		
12	感染症の各論 主な感染症③	具体的な対策について理解をする。		
13	感染症各論のまとめ	感染症についてのまとめ 、小テスト		
14	公衆衛生・環境衛生、感染症まとめ	衛生管理全般についてのまとめ 試験対策		
15	公衆衛生・環境衛生、感染症まとめ	感染症全般についてのまとめ 試験対策		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
衛生管理 公益社団法人 日本理容美容教育センター		期末試験 確認テスト	80.0% 20.0%	授業の前後には、 予習復習をして習熟を図る事。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
保健 (前期)		美容学科/1年	2023/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	水本 健一
授業の概要				
<p>これから学ぶ「保健」は「健康を保つ」という意味です。健康には身体的な意味のほかに、精神的、社会的な健康という面もあります。非常に多面的ではありますが、この授業では人間の美の源泉ともいえる身体的な健康について学んでいきます。</p> <p>理容師・美容師は、頭や顔を中心とする人間の美と健康に携わる保健衛生分野の職業なので、一般の人以上に解剖学や生理学に関する知識を深めていきましょう。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>第1編では、人体の構造や機能を全体的に学びその知識を習得することを目標とします。</p> <p>第2編では、理容師・美容師の皮膚や毛髪に鋭利な刃物や薬品などを使用する業務の特徴から、とくに皮膚や毛髪に関する深い知識を学び習得することを目標とします。</p>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		美容サロンの店長として、5年間サロンの運営及び経営の実務に従事する。		
時間外に必要な学修				
<p>まずテキストを読み、理容・美容保健を学ぶ大きな流れを把握すること。</p> <p>講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。</p>				
回	テーマ		内容	
1	第1編第1章 頭部、顔部、頸部の体表解剖学		はじめに 保健を学ぶにあたって、人体各部の名称について学修する。	
2	第1編第1章 頭部、顔部、頸部の体表解剖学②		頭頸部の体表解剖学について学修する。	
3	第1編第2章 骨格器系		骨の種類と構造、骨の連結について学修する。	
4	第1編第2章 骨格器系②		骨格器系とそのはたらきについて学修する。	
5	第1編第3章 筋系		筋の種類とその特徴、主な骨格筋とそのはたらきについて学修する。	
6	第1編第3章 筋系②		表情筋と表情運動について学修する。	
7	第1編 第1章～第3章 まとめ		確認テスト 出題範囲 (P12～P36) テスト後、解答・解説。	
8	第1編第4章 神経系		神経系の成り立ち、中枢神経系とそのはたらき、末梢神経系とそのはたらきについて学修する。	
9	第1編第5章 感覚器系		視覚、聴覚、平衡感覚、味覚、嗅覚、皮膚感覚について学修する。	
10	第1編 第4章～第5章 まとめ		確認テスト 出題範囲 (P38～P47) テスト後、解答・解説。	
11	第1編第6章 血液と免疫系		血液のあらまし、免疫のあらまし、アレルギーについて学修する。	

回	テーマ	内 容		
12	第1編第7章 循環器系	心臓のあらまし、血液循環の仕組み、血液の循環経路について学修する。		
13	第1編第7章 循環器系②	血液の循環経路②、リンパ管系の仕組みとはたらきについて学修する。		
14	第1編第8章 呼吸器系	呼吸器系のあらまし、気道、肺の仕組みとガス交換、呼吸運動について学修する。		
15	第1編 第6章～第8章 まとめ	復習テスト 出題範囲 (P48～P59) テスト後、解答・解説。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
理容・美容保健（公益社団法人日本理容美容教育センター監修） ワークブック（公益社団法人日本理容美容教育センター監修）		確認テスト 期末試験	30.0% 70.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
保健(後期)		美容学科/1年	2023/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	水本 健一
授業の概要				
<p>これから学ぶ「保健」は「健康を保つ」という意味です。健康には身体的な意味のほかに、精神的、社会的な健康という面もあります。非常に多面的ではありますが、この授業では人間の美の源泉ともいえる身体的な健康について学んでいきます。</p> <p>理容師・美容師は、頭や顔を中心とする人間の美と健康に携わる保健衛生分野の職業なので、一般の人以上に解剖学や生理学に関する知識を深めていきましょう。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>第1編では、人体の構造や機能を全体的に学びその知識を習得することを目標とします。</p> <p>第2編では、理容師・美容師の皮膚や毛髪に鋭利な刃物や薬品などを使用する業務の特徴から、とくに皮膚や毛髪に関する深い知識を学び習得することを目標とします。</p>				
実務経験有無	実務経験内容			
有	美容サロンの店長として、5年間サロンの運営及び経営の実務に従事する。			
時間外に必要な学修				
<p>まずテキストを読み、技術を積み重ねる大きな流れを把握すること。</p> <p>講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。</p>				
回	テーマ	内 容		
3	第2編第1章 皮膚の構造	皮膚の表面、皮膚の断面、表皮について学修する。		
4	第2編第1章 皮膚の構造②	表皮と真皮の境、真皮、皮下組織、皮膚の部位差について学修する。		
5	第2編1章 まとめ	確認テスト 出題範囲(P60~P75) テスト後、解答・解説。		
6	第2編第2章 皮膚付属器官の構造	毛について学修する。		
7	第2編第2章 皮膚付属器官の構造②	脂腺、汗腺、爪について学修する。		
8	第2編第2章 まとめ	確認テスト 出題範囲(P78~P87) テスト後、解答・解説。		
9	第2編第3章 皮膚の循環器系と神経系	皮膚の血管、皮膚のリンパ管、皮膚の神経について学修する。		
10	第2編第4章 皮膚と皮膚付属器官の生理機能	対外保護作用、体温調節作用について学修する。		
11	第2編第4章 皮膚と皮膚付属器官の生理機能②	知覚作用と皮膚反射、分泌排泄作用、呼吸作用について学修する。		
12	第2編第4章 皮膚と皮膚付属器官の生理機能③	吸収作用、貯蔵作用、免疫・解毒・排除作用、再生作用、毛のはたらき、爪のはたらきについて学修する。		
13	第2編 第3章~第4章 まとめ	確認テスト 出題範囲(P90~P107) テスト後、解答・解説。		

回	テ ー マ	内 容		
14	第1編 第1章～第8章 まとめ	確認テスト 出題範囲 (P12～P59) テスト後、解答・解説。		
15	第1編第1章～第2編第4章 まとめ	確認テスト 出題範囲 (P60～P107) テスト後、解答・解説。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
理容・美容保健 (公益社団法人日本理容美容教育センター監修) ワークブック (公益社団法人日本理容美容教育センター監修)		確認テスト 期末試験	30.0% 70.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
香粧品化学(後期)		美容学科/1年	2023/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	滝口 大輔

授業の概要

理容・美容の技術を行う際、器具と同様に多用するものが香粧品です。香粧品とはシャンプー剤、スキンケア剤、カラーリング・パーマ剤等のことで、これらはお客様の髪、肌、爪などの様々な部位において直接使用します。そのため使い方によっては重大な損傷をあたえる事故につながることもあります。この授業では美容師として必要な、香粧品の性状や使い分け、社会的な意義や法的な根拠、安全性をどのように担保しているかというところまで学んでいきます。

授業終了時の到達目標

香粧品の原料や配合などの成り立ち、性状、使用目的のほか、どのような薬品が香粧品に属するのか、その定義、社会的意義や特性、法的な根拠、製品の安定性も含めた安全性についての知識を習得する。なお、つけまつ毛やまつ毛エクステンション、つけ爪等のネイル製品は香粧品ではないが、身体に直接装着するものであり、つけ外しの容易な装飾品とは異なり香粧品に準ずるものです。そのため、これらについても香粧品と同様に材料と使用方法について知識を習得していきます。

実務経験有無	実務経験内容
有	美容サロンで20年近く、運営及び経営に従事する。

時間外に必要な学修

まずテキストを読み、香粧品を学ぶ大きな流れを把握すること。講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。

回	テーマ	内容
1	第1編第1章 香粧品総論	香粧品の社会的意義、理容・美容の技術と香粧品について学修する。
2	第1編第2章1節 香粧品を使用する際に気をつけるべきこと	香粧品の使用による症状、化学物質であるということ、工業製品であるということについて学修する。
3	第1編第2章2節 香粧品の定義と法規制	医薬部外品と化粧品との定義、香粧品の法規制の変遷について学修する。
4	第1編第2章3節 香粧品の安全性と安定性	香粧品の安全性、表示成分と安全性、安定性について学修する。
5	第1編第1章・第2章 まとめ	復習テスト 出題範囲(P9~P39) テスト後、解答・解説。
6	第1編第3章1節2節 香粧品の成り立ち・水と親水性溶媒	香粧品の種類と機能、剤形と処方、物質と溶液、水、アルコールについて学修する。
7	第1編第3章3節 油性原料	油脂、ロウ類、炭化水素、その他の油性原料、油性原料の機能について学修する。
8	第1編第3章4節 界面活性剤	界面活性剤の基本的性質、界面活性剤の種類、界面活性剤の香粧品への応用について学修する。
9	第1編第3章5節 高分子化合物	高分子化合物の種類と特性、高分子化合物の香粧品への応用について学修する。
10	第1編第3章6節 色材	色材と香粧品、無機顔料、有機合成色素(タール色素)、光輝性顔料について学修する。

回	テーマ	内 容		
11	第1編第3章7節 香料	香料と香粧品、香料の種類、調合香料について学修する。		
12	第1編第3章8節 製品を安定させる配合原料	防腐剤・殺菌剤、酸化防止剤、金属イオン封鎖剤、緩衝液について学修する。		
13	第1編第3章9節 その他の機能性配合原料	保湿剤、紫外線吸収剤、収れん剤、ビタミンなどについて学修する。		
14	第1編第3章10節 雑貨原料	合成樹脂、接着剤、塗料について学修する。		
15	第1編第3章 まとめ	復習テスト 出題範囲 (P41~P93) テスト後、解答・解説。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
香粧品化学 (公益社団法人日本理容美容教育センター監修) ワークブック (公益社団法人日本理容美容教育センター監修)		確認テスト 期末試験	30.0% 70.0%	まずテキストを読み、香粧品を学ぶ大きな流れを把握すること。講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
文化論 (前期)		美容学科/1年	2023/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	田中 美紀
授業の概要				
人の歴史の最古から、理容、美容がかかわってきたことを学ぶことは、今を知るためにとても重要である。日本と西洋、それぞれの歴史の中にもみる理容、美容は、各時代の人々が、どのような時代背景の中で、どのような美しさを求めたのかを知ることができる。これらの知識が今求められている「美しさ」の意味を知る手掛かりとなることを学修する。				
授業終了時の到達目標				
ここで学ぶ文化論の中には、コンセンスを取得するためのヒントや、創造の幅を広げるエッセンスが多く存在している。現代美容までの歴史の背景を理解し説明もできる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		美容サロンで10年以上、サロンの運営及び経営に従事する		
時間外に必要な学修				
講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。				
回	テーマ	内 容		
1	日本の理容業、美容業の歴史	日本のあらしを知り、現代の理容、美容師がどのように確立されたかを学修する。		
2	ファッション文化史 日本編 縄文、弥生、古墳時代	日本列島に人が住みはじめたのは、今から4万年ほど前の氷河期。当時の発掘資料や文献から学修する。		
3	1950年代以降のヘアスタイルとメイク	模写を通じて、ヘアスタイルとメイクの流行を学ぶ。併せて、美容師に必要なデッサン力や、目でものを図る力も養う。		
4	1950年代以降のヘアスタイルとメイク	模写を通じて、ヘアスタイルとメイクの流行を学ぶ。併せて、美容師に必要なデッサン力や、目でものを図る力も養う。		
5	1950年代以降のヘアスタイルとメイク	模写を通じて、ヘアスタイルとメイクの流行を学ぶ。併せて、美容師に必要なデッサン力や、目でものを図る力も養う。		
6	1950年代以降のヘアスタイルとメイク	模写を通じて、ヘアスタイルとメイクの流行を学ぶ。併せて、美容師に必要なデッサン力や、目でものを図る力も養う。		
7	ファッション文化史 日本編 近代	幕末～明治時代 髷から断髪へ。文明開化の始まりを学修する。		
8	ファッション文化史 日本編 近代	明治時代の美容文化について学修する。		
9	ファッション文化史 日本編 近代	大正時代の美容文化について学修する。		
10	ファッション文化史 日本編 近代	戦時体制が強化されている時期のヘアスタイルやファッションについて学修する。		
11	ファッション文化史 日本編 近代	戦時体制が強化されている時期のヘアスタイルやファッションについて学修する。		

12	ファッション文化史 日本編 近代	戦時体制が強化されている時期のヘアスタイルやファッションについて学修する。		
13	ファッション文化史 日本編 現代 I	欧米文化が色濃く表れている終戦後の昭和時代について学修する。		
14	ファッション文化史 日本編 現代 II～III	1960年以降の美容に関する流行について学修する。		
15	礼装の種類	和装の礼装・洋装の礼装		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
文化論 (公社) 日本理容美容教育センター教科書		実技評価	40.0%	
		期末試験	60.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
美容技術理論 (前期)		美容学科/1年	2023/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	滝口 大輔
授業の概要				
<p>技術にはその裏付けとなる理論が必ずあります。 理論とは「なぜそうなるのか」を解明し、技術について整然と筋道を立てて説明できるように組みなおしたものです。 つまり理論とは「なぜそうなるのか」を解き明かす大事な鍵なのです。 この授業では技術という扉を開けるこの「鍵」を学んでいきます。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>美容の教育は理論によるところと感性や感覚に負うところの、いわゆる2つの側面を有しています。 そのうち理論を習得することを目標とします。 具体的には毛髪をどのように巻いたらどのようなウェーブが得られるかといったような、技術に理論的根拠をあたえ、技術の習得を容易にする、いわゆる理論思考の習得です。 それと合わせて技術だけの習得ではなく、公衆衛生の維持向上に貢献する美容師としての知識も美容技術理論で学び習得していきます。</p>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		美容サロンで20年近く、運営及び経営に従事する。		
時間外に必要な学修				
<p>まずテキストを読み、技術を積み重ねる大きな流れを把握すること。 講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。</p>				
回	テーマ		内容	
1	序章 美容技術理論を学ぶにあたって		美容理論と美容技術、作業姿勢、人体各部の名称について学修する。	
2	1章 美容用具①		美容技術における用具、コーム、ブラシについて学修する。	
3	1章 美容用具②		シザーズ、レザー、ピン類、ヘアクリップ、ロッドについて学修する。	
4	1章 美容用具③		ローラー、ヘアアイロン、ヘアドライヤー、ヘアスチーマー、遠赤外線機について学修する。	
5	1章 まとめ		確認テスト 出題範囲 (P6~P35) テスト後、解答・解説。	
6	2章 シャンプーイング①		シャンプーイング総論について学修する。	
7	2章 シャンプーイング②		サイドシャンプー、バックシャンプーについて学修する。	
8	2章 シャンプーイング③		リンス・コンディショナー・トリートメントについて学修する。	
9	2章 シャンプーイング④		スカルプトリートメント、ヘッドスパについて学修する。	
10	2章 まとめ		確認テスト 出題範囲 (P38~P65) テスト後、解答・解説。	
11	3章 ヘアデザイン①		美容とデザイン、錯覚現象について学修する。	

回	テーマ	内容		
12	3章 ヘアデザイン②	デザインの要素、点、線、面について学修する。		
13	3章 ヘアデザイン③	デザインの原理、群化の法則、方向、比率について学修する。		
14	3章 ヘアデザイン④	シンメトリー、バランス、調和と対比、リズムについて学修する。		
15	3章 まとめ	確認テスト 出題範囲 (P68~P88) テスト後、解答・解説。		
16	1章~3章まとめ	確認テスト 出題範囲 (P6~P88) テスト後、解答・解説。		
17	4章 ヘアカット①	ヘアカットとは、シザーズとレザーの扱い方、美容刃物について学修する。		
18	4章 ヘアカット②	ヘアカットの正しい姿勢、ブロッキング、ヘアカットの基礎理論について学修する。		
19	4章 ヘアカット③	ベーシックなカット技法について学修する。		
20	4章 ヘアカット④	シザーズによるカット技法について学修する。		
21	4章 ヘアカット⑤	レザーによるカット技法について学修する。		
22	4章 まとめ	確認テスト 出題範囲 (P90~P128) テスト後、解答・解説。		
23	5章 パーマネントウェービング①	パーマネントウェーブの歴史と現在、パーマネントウェーブの理論について学修する。		
24	5章 パーマネントウェービング②	パーマ剤の分類、パーマ剤に関する注意事項について学修する。		
25	5章 パーマネントウェービング③	パーマネントウェーブ技術について学修する。		
26	5章 パーマネントウェービング④	ワインディングのバリエーションについて学修する。		
27	5章 パーマネントウェービング⑤	縮毛矯正（高温整髪用アイロン使用）について学修する。		
28	5章 まとめ	確認テスト 出題範囲 (P130~P150) テスト後、解答・解説。		
29	4章~5章まとめ	確認テスト 出題範囲 (P90~P150) テスト後、解答・解説。		
30	1章~5章まとめ	確認テスト 出題範囲 (P6~P150) テスト後、解答・解説。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
美容技術理論（公益社団法人日本理容美容教育センター監修） ワークブック（公益社団法人日本理容美容教育センター監修）		確認テスト 期末試験	30.0% 70.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
美容技術理論 (後期)		美容学科/1年	2023/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	滝口 大輔
授業の概要				
<p>技術にはその裏付けとなる理論が必ずあります。 理論とは「なぜそうなるのか」を解明し、技術について整然と筋道を立てて説明できるように組みなおしたものです。 つまり理論とは「なぜそうなるのか」を解き明かす大事な鍵なのです。 この授業では技術という扉を開けるこの「鍵」を学んでいきます。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>美容の教育は理論によるところと感性や感覚に負うところの、いわゆる2つの側面を有しています。 そのうち理論を習得することを目標とします。 具体的には毛髪をどのように巻いたらどのようなウェーブが得られるかといったような、技術に理論的根拠をあたえ、技術の習得を容易にする、いわゆる理論思考の習得です。 それと合わせて技術だけの習得ではなく、公衆衛生の維持向上に貢献する美容師としての知識も美容技術理論で学び習得していきます。</p>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		美容サロンで20年近く、運営及び経営に従事する。		
時間外に必要な学修				
<p>まずテキストを読み、技術を積み重ねる大きな流れを把握すること。 講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。</p>				
回	テーマ		内容	
1	6章 ヘアセッティング①		ヘアセッティング、ヘアパーティング、ヘアシェーピング、ヘアカーリングについて学修する。	
2	6章 ヘアセッティング②		ヘアカーリングについて学修する。	
3	6章 ヘアセッティング③		ヘアウェーピングについて学修する。	
4	6章 ヘアセッティング④		ヘアウェーピングについて学修する。	
5	6章 ヘアセッティング⑤		ローラーカーリングについて学修する。	
6	6章 ヘアセッティング⑥		ブロードライについて学修する。	
7	6章 ヘアセッティング⑦		アイロンセッティング、バックコーミングについて学修する。	
8	6章 ヘアセッティング⑧		アップスタイル、ウィッグとヘアピースについて学修する。	
9	6章 まとめ		確認テスト 出題範囲 (P152~P213) テスト後、解答・解説。	
10	7章 ヘアカラーリング①		ヘアカラーリング概論、ヘアカラーの種類、ヘアカラーのタイプ別特徴、染毛のメカニズムについて学修する。	

回	テーマ	内容		
11	7章 ヘアカラーリング②	色の基本、毛髪のレベルとアンダートーン、パッチテストについて学修する。		
12	7章 ヘアカラーリング③	染毛剤使用時の注意事項、ヘアカラーリングの道具、酸化染毛剤（アルカリ性タイプカラー）の技術手順について学修する。		
13	7章 ヘアカラーリング④	酸性染毛料の技術手順、ヘアブリーチ（脱色）、シャンプー剤・ヘアトリートメント剤の構成成分について学修する。		
14	7章 まとめ	確認テスト 出題範囲（P216～P243）テスト後、解答・解説。		
15	1章～7章まとめ	確認テスト 出題範囲（P6～P243）テスト後、解答・解説。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
美容技術理論（公益社団法人日本理容美容教育センター監修） ワークブック（公益社団法人日本理容美容教育センター監修）		確認テスト 期末試験	30.0% 70.0%	まずテキストを読み、技術を積み重ねる大きな流れを把握すること。 講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
運営管理(後期)		美容学科/1年	2023/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	表 康子
授業の概要				
経営者の視点(立場にたつという意味)での経営意識を持つ。そのために経営者の立場から仕事を考える。経営の基本を身につけ、組織マネジメントが重要であることを学修する。				
授業終了時の到達目標				
経営基本をイメージし、組織マネジメントが重要である事を認識する。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		表はサロンで20年以上、サロンの運営及び経営に従事する		
時間外に必要な学修				
講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。				
回	テーマ	内容		
1	経営の必要性和経営資源・経営計画・経営戦略	なぜ経営が必要なのかを理解し、それを実現するための経営計画、経営戦略について学修する。		
2	理容、美容業界の現状	経営戦略を立てるために必要な外部環境としての業界の現状について学修する。		
3	資金の管理	資金管理の重要性と収支と損益、会計の考え方について学修する。		
4	確認テスト1	ここまでの学修を振り返り、確認テストを実施する。		
5	人的資源管理	企業の中での人的資源管理としての労務管理の重要性について学修する。		
6	労働者の権利・美容所における健康問題	労働者の権利としての労働法および、美容所における健康の確保について学修する。		
7	従業員として果たすべき責任	従業員として果たすべき責任を理解し、公的年金について学修する。		
8	従業員として果たすべき責任②	医療保険制度、労働保険制度について学修し、キャリアプランの重要性について理解する。		
9	確認テスト2	ここまでの学修を振り返り、確認テストを実施する。		
10	サービス・デザイン	顧客が求める価値を理解し、その満足度を高めるためのサービスの提供について学修する。		
11	マーケティング	理容業・美容業におけるマーケティングについて学修する。		

12	マーケティングミクス	理容業・美容業におけるマーケティングミクスを構成する要因について学修する。		
13	接客	サービスにおける接客の重要性について理解し、良い接客とは何かを考える		
14	確認テスト3	ここまでの学修を振り返り、確認テストを実施する。		
15	学修の総まとめ	これまでの学修の総まとめとして、特に重点的なポイントについて、問題演習をしながら確認する。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
運営管理 (公社) 日本理容美容教育センター教科書		確認テスト 期末試験	30.0% 70.0%	まずテキストを読み、学修の大きな流れを把握すること。 教科書・講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。

		学科/学年	年度/時期	授業形態
美容実習(ワインディング) (前期)		美容学科/1年	2023/前期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	120単位時間	必須	田中美紀/小島光世/水本健一/ 滝口大輔/泉谷愛子/
授業の概要				
美容師国家試験課題のワインディング実習を通して学修し、国家試験合格レベルの技術の修得を目指します。 ※ワインディングとはパーマをかけるときにロッドを髪に巻きつける技術。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・2年次の国家試験に向けてワインディングの基礎技術が修得できる。 ・8月、9月に開催される学外コンテストに向けて30分以内でワインディングを完成させれる技術が修得できる。 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		田中は美容サロンで5年以上運営及び経営に従事する 小島・滝口・泉谷は美容サロンで20年近く、運営及び経営に従事する 水本は美容サロンの店長として5年以上サロンの運営及び経営に従事する。		
時間外に必要な学修				
実習の後にはその日の内容を復習をして習熟を図る				
回	テーマ	内 容		
1~ 2	ワインディング概要説明・事前準備	道具の名称、セッティング方法、ウィックの濡らし方、コームの持ち方、オールバックのとかし方、縦スライスの取り方、横スライスの取り方について学修する。		
3~ 4	ワインディング実習・事前準備	10ブロックの説明、正確な10ブロックについて学修する。		
5~ 6	ワインディング実習・ブロッキング	10ブロックの復習を行い、スライスの取り方やシェーブの仕方を学修する。上巻きの説明・デモ・上巻きの練習		
7~ 8	【定期チェック1】 ワインディング実習・上巻きの練習	10ブロック10分 上巻きの復習 センターのロッドの配列を図解にて解説する。		
9~ 10	ワインディング実習・上巻き・下巻きの練習	10ブロック7分 上巻きの復習・下巻きの説明・デモ・練習 センター巻いてみる		
11~ 12	ワインディング実習・センター	10ブロック7分 上巻き・下巻きの復習 センターデモ 1本1分目標に巻いてみる		
13~ 14	ワインディング実習・センター	10ブロック7分 上巻き・下巻きの復習 コツをつかむ		
15~ 16	【定期チェック2】 ワインディング実習・上巻きの練習	BL7分+センター25分(1本約90秒)		

回	テーマ	内容
17～ 18	ワインディング実習・全頭のロッド配列	全頭のロッド配列・図解 BL7分+センター20分 (1本75秒)
19～ 20	ワインディング実習・センター・フロント～ 右バックサイド～サイド	10ブロック5分→センター20分 (1本75秒) 右サイドデモ→右サイド巻き上げ
21～ 22	ワインディング実習・センター・右サイド・ フロント～左バックサイド～サイド	10ブロック5分→センター16分→右サイド20分 (1本60秒) 左サイドデモ→左サイド巻き上げ
23～ 24	ワインディング実習・全頭	BL5分→センター16分→右20分→左17分 (1本60秒) W53分 完成後のバランスを学修する。
25～ 26	ワインディング実習・全頭	BL5分→センター13分→右16分30秒→左14分 (1本50秒) W43分30秒 完成後のバランスを学修する。
27～ 28	ワインディング実習・全頭	BL5分→センター12分→右15分→左13分 (1本45秒) W40分 完成後のバランスを学修する。
29～ 30	【定期チェック3】 ワインディング実習	BL 5分・W40分 (1本45秒)
31～ 32	ワインディング実習・全頭 ブ ロッキング5分ワインディング35分30秒	BL5分→センター10分30秒→右13分30秒→左11分30秒 (約1本40秒) W35分30秒 完成後のバランスを学修する。
33～ 34	ワインディング実習・全頭	BL5分→センター10分30秒→右13分30秒→左11分30秒 (約1本40秒) W35分30秒 完成後のバランスを学修する。
35～ 36	ワインディング実習・全頭	BL5分→センター9分30秒→右11分30秒→左10分 (約1本35秒) W31分 完成後のバランスを学修する。
37～ 38	ワインディング実習・全頭	BL5分→センター9分30秒→右11分30秒→左10分 (約1本35秒) W31分 完成後のバランスを学修する。
39～ 40	ワインディング実習・全頭	BL4分→センター9分→右11分→左9分 (約1本33秒) W30分 完成後のバランスを学修する。
41～ 42	ワインディング実習・全頭	BL4分・W30分 (1本33秒) 完成後のバランスを学修する。
43～ 44	【定期チェック4】中間試験 ワインディング実習	ブロッキング4分、ワインディングを全頭30分で作成。完成後のバランスを学修する。
45～ 46	ワインディング実習・全頭30分	ブロッキング4分、ワインディング全頭を30分で作成。(1本33秒)
47～ 48	ワインディング実習・全頭30分	ブロッキング4分、ワインディング全頭を30分で作成。(1本33秒)
49～ 50	ワインディング実習・全頭30分	ブロッキング4分、ワインディング全頭を30分で作成。(1本33秒)
51～ 52	ワインディング実習	ブロッキング4分、ワインディング全頭を30分で作成。(1本33秒)
53～ 54	ワインディング実習・全頭27分	ブロッキング4分、1本30秒で巻くことを意識させる。完成後のバランスを学修する。
55～ 56	ワインディング実習・全頭27分	ブロッキング3分、1本30秒で巻く練習(W約26分30秒)。完成後のバランスを学修する。
57～ 58	ワインディング実習・全頭27分	ブロッキング3分、ワインディング27分。1本30秒で巻く練習。完成後のバランスを学修する。

回	テ ー マ	内 容		
59～ 60	ワインディング実習・全頭27分	期末試験目録練習 ブロッキング3分 ワインディング27分		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	ワインディング用具一式 美容技術理論（公益社団法人日本理容美容 教育センター）	中間試験 学期末試験	30.0% 70.0%	

作成者:田中美紀

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
美容実習(ワインディング) (後期)		美容学科/1年	2023/後期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	8回	30単位時間	必須	田中美紀/小島光世/水本健一/ 滝口大輔/泉谷愛子/
授業の概要				
この科目では美容師国家試験課題のワインディング実習を通して学修し、国家試験合格レベルの技術の修得を目指します。 ※ワインディングとはパーマをかけるときにロッドを髪に巻きつける技術。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・2年次の国家試験に向けてワインディングの基礎技術が修得できる。 ・8月のSPCコンテスト、9月の彦田コンテストに向けて30分以内でワインディングを完成させれる技術が修得できる。 				
実務経験有無	実務経験内容			
有	田中は美容サロンで5年以上運営及び経営に従事する 小島・滝口・泉谷は美容サロンで20年近く、運営及び経営に従事する 谷は美容サロンで10年以上、サロンの運営及び経営に従事する 水本は美容サロンの店長として5年以上サロンの運営及び経営に従事する。			
時間外に必要な学修				
実習の前後には予習復習をして習熟を図る				
回	テーマ	内容		
1~2	ワインディング実習・BL3分/全頭25分	ブロッキング3分、ワインディング25分。作業速度を上げながら作業精度を保つことを学修する。		
3~4	ワインディング実習・BL 2分30秒/全頭23分	前期の復習を兼ねて全頭25分で完成させる。時間内での精度を高める技術を学修する。		
5~6	ワインディング実習・BL2分30秒/全頭23分	時間短縮を図る。時間内での精度を高める技術を学修する。		
7~8	【定期チェック1】 BL2分30秒/W23分	ブロッキング2分30秒・全頭23分のチェックを行う。		
9~10	ワインディング実習・BL2分/全頭20分	10ブロックから全頭20分で作成。作業速度をさらに上げながら作業精度を保つことを学修する。		
11~12	ワインディング実習 BL2分・W20分	前回の復習を兼ねて10ブロックから全頭22分で完成させる。時間内での精度を高める技術を学修する。		
13~14	ワインディング実習・22分 (BL2分・W20分)	全頭22分の総仕上げ。 基礎力の定着と仕上がりの安定化を学修する。		
15	【定期チェック2】 ワインディング実習・全頭22分	これまでの復習として、全頭22分のチェックを行う。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
ワインディング用具一式 美容技術理論 (公益社団法人日本理容美容教育センター)		中間試験 学期末試験	30.0% 70.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
(実習) アップ基礎 (前期)		美容学科/1年	2023/前期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	泉谷 愛子
授業の概要				
<p>アップスタイルに必要な基礎知識を学び、サロンに出た時に役に立つ技術も学修する。 夜会巻きの基礎スタイルでの道具の取り扱いでは、美容師としての必要な心構えも学修する。 また、ホットカーラーの巻き方も学ぶため、アシスタントとしての技術も合わせて身につけることができる。</p>				
授業終了時の到達目標				
アップスタイルの基本技術を体得しボリューム感や丸みの調整ができるようになる。				
実務経験有無	実務経験内容			
有	サロンで20年近く、運営及び経営に従事する			
時間外に必要な学修				
実習の前後には予習復習をして習熟を図る				
回	テーマ	内容		
1~2	アップスタイルの概論と一側結びの実践練習	道具の名称、スタイリング剤の使い方、道具の使い方、髪の毛にしっかり慣れてもらう。レクチャーと実践練習		
3~4	アップスタイルの概論と下準備の実践練習	ホットカーラーの巻き方と実践練習		
5~6	夜会巻き実践①	夜会巻きのブロッキングの手順、土台の作り方、ピンの止め方、すき毛の位置と作り方		
7~8	夜会巻き②	抱き合わせのレクチャーと実践練習 面の出し方に注意して作る		
9~10	夜会巻き③	夜会巻きの完成形のレクチャーと実践練習		
11~12	夜会巻き④	夜会巻きを完成させる 各部分事に作っていく。苦手な所を練習する		
13~14	夜会巻き⑤	校内コンテストを意識させたタイムトライアルでの実践練習。 ホットカーラーを巻いての下準備		
15	夜会巻き確認テスト	50分での校内コンテスト		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
アップ道具一式 美容技術理論1 (公益社団法人 日本理容美容教育センター)		確認テスト	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
(実習) メイク基礎 (前期)		美容学科/1年	2023/前期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	泉谷 愛子/金作 純子
授業の概要				
相手にメイクアップを施す際のマナーをはじめメイクアップの基本的な流れ、基礎知識を学ぶ。サロンに出た際に役に立つ技術を学修する。				
授業終了時の到達目標				
メイクアップの目的・効果を基本的な手順を理解し、フルメイクを仕上げられるレベルに到達する。				
実務経験有無	実務経験内容			
有	泉谷はサロンで20年近く、運営及び経営に従事する			
時間外に必要な学修				
実習の前後には予習復習をして習熟を図る				
回	テーマ	内容		
1~2	メイクアップの必要性、心得、準備方法、手入れ方法、基本プロセス	メイクアップの必要性、心得を身につけプロ意識を高める メイクアップの準備、片付け、手入れの仕方を修得する。メイクアップ基本プロセスを理解する		
3~4	スキンケア・ベースメイクアップ学習	スキンケア、ベースメイクアップの目的を理解する。 肌質を理解し、それぞれのコンディションに対応できるテクニックを身につける。 肌トラブル（ニキビ、シミ、クマ）を目立たなくする技術を習得する。		
5~6	ファンデーション・パウダー・コントロールカラー	ファンデーション・パウダーテクニックを学び、崩れにくいメイクアップの手法とコツを学修する。 コントロールカラーの種類と目的を理解し、ベースメイクアップの手順を学修する。		
7~8	ハイライト・ローライト	ハイライトやローライトの目的、効果、使い方を学修する。		
9~10	アイブロウ・アイメイクアップ	目的と種類、色・形とイメージを考える ポイントメイクアップの正しい手順を学修する。		
11~12	アイブロウ・アイメイクアップ・チーク・リップ	目的と種類、色・形とイメージを考える ポイントメイクアップの正しい手順を学修する		
13~14	作品練習①	目的、効果を理解し正しい手順で最終作品を作る		
15	まとめ	目的、効果を理解し正しい手順で最終作品を作る		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
アップ道具一式 美容技術理論1 (公益社団法人 日本理容美容教育センター)		提出物 授業態度 期末試験	30.0% 20.0% 50.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
(実習) カット基礎 (前期)		美容学科/1年	2022/前期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	滝口大輔/水本健一/表康子/ 田中美紀/泉谷愛子
授業の概要				
この科目ではベーシックカットの一つであるワンレングスカット・グラデーションカット・レイヤーカットを学修することで、カットの基礎と理論を理解しその後のカット技術の習熟度を高めることにつながる基礎となる実習です。				
授業終了時の到達目標				
ワンレングスカット・グラデーションカット・レイヤーカットができるようになる。 ヘアデザインを行うための基礎知識が身につく。 その他のヘアスタイルに発展できる基礎力が身につく。				
実務経験有無	実務経験内容			
有	滝口・泉谷・表は美容サロンで20年近く、運営及び経営に従事する 水本は美容サロンの店長として5年以上サロンの運営及び経営に従事する。 田中は美容サロンで5年以上運営及び経営に従事する			
時間外に必要な学修				
実習の前後には予習復習をして習熟を図る				
回	テーマ	内容		
1~ 2	カッティングとは (ベーシックカット)	正しくカッティングするために・カットの概要を学修する。		
3~ 4	カッティング実践・ワンレングス (平行)	ワンレングスのとかしつけ。バックを床と垂直にとかしつけ 床と並行にカットすることを学修する。		
5~ 6	カッティング実践・ワンレングス (平行)	両サイドのフロントのコーミングの仕方を説明。 サイドのカットを学修する。バランスを学修する。		
7~ 8	カッティング実践・グラデーション	グラデーションカットとは?上が長くて下が短い。ス ライスの取り方		
9~ 10	カッティング実践・グラデーション	どこのセクションの髪をどれだけ持ち上げるか、どのくらいの角度 で持ち上げるか、どの角度で切っていくかを学修する。		
11~ 12	カッティング実践・レイヤー	レイヤーカットとは?下が長くて上が短い。 スライスの取り方		
13~ 14	カッティング実践・セームレイヤー	パネルを頭皮に対して直角(オンベース)に引き出すことを 学修する。		
15	カッティング実践・まとめ	確認テスト(課題3つの中から)		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
美容技術理論(日本理容美容教育センター 監修)		実習・実技評価 実習への取組姿勢	70.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
(実習) サロンワーク基礎 (前期)		美容学科/1年	2023/前期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	表康子/水本健一
授業の概要				
この科目ではヘアサロン監修のシャンプーマニュアルで実習を行うことでサロン内で信頼されるアシスタント、お客様に支持される即戦力の(技術力)と(人間力)を身につけたアシスタントを目指します。				
授業終了時の到達目標				
各サロンの手順に従って、シャンプーができる。 シャンプーの際の手の動かし方や力の入れ方が理解できる。				
実務経験有無	実務経験内容			
有	表は美容サロンで20年近く、運営及び経営に従事する 水本は美容サロンの店長として5年以上サロンの運営及び経営に従事する。			
時間外に必要な学修				
実習の前後には予習復習をして習熟を図る				
回	テーマ	内容		
1~3	シャンプー・概要説明・手の動かし方。ウィッグ。ドライ手順・方法	マニュアルをベースにウィッグを使って手の動きを確認。サイドシャンプーの感覚を学修する。ドライ。		
4~5	シャンプー①ウィッグ ブロー手順・方法	まずは髪の毛を均等に濡らす練習。声のかけ方や水が顔にはねない角度などを学修する。デンマンブロー。		
6~7	シャンプー②相モデル ドライ・ブロー	前回の復習をしながら1シヤンの練習。利き手と逆の手の動かし方を学修する。		
8~9	シャンプー③ ドライ・ブロー	1・2シヤン目のサイドシャンプーを練習。手の動かし方や力の入れ方の違いを学修する。		
10~11	シャンプー④ ドライ・ブロー	1・2シヤン目のサイドシャンプーを練習。ホットタオル、トリートメントを学修する。		
12~13	接客①シャンプー⑤ ドライ・ブロー	接客～シャンプーブースまでのご案内から、サイドシャンプーの一連の動きを通して行う(接客～シャンプー重点)		
14~15	接客②シャンプー⑥ ドライ・ブロー	接客～シャンプーブースまでのご案内から、サイドシャンプーの一連の動きを通して行う(接客～ブロー重点)		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
シャンプーマニュアル(ヘアサロン監修)		実習・実技評価 確認テスト	80.0% 20.0%	授業の前後には、予習復習をして習熟を図る事。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
(実習) サロンワーク基礎 (後期)		美容学科/1年	2023/後期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	表康子/水本健一
授業の概要				
サロンでの学外実習を通じ、美容師の仕事の実態を知る。 現場での職場体験を通じ、美容師に必要なスキルを把握し、今後の学修に活かす。				
授業終了時の到達目標				
美容師の仕事に必要なスキルを理解し、今後の学校生活において自己が改善すべき課題、高めるべきスキルについて理解する。				
実務経験有無	実務経験内容			
有	表は美容サロンで20年近く、運営及び経営に従事する 本は美容サロンの店長として5年以上サロンの運営及び経営に従事する。 水			
時間外に必要な学修				
日々のサロンの実習内容を振り返り、翌日の改善につなげる				
回	テーマ	内容		
1~ 2	カラー実習グレイ①	理論。ボディーモーションでの動き。ウィッグにてエアークリーム塗布。 ハケの使い方、塗布の仕方、スライスの取り方		
3~ 4	カラー実習グレイ②	ウィッグにてトレーニングクリーム塗布。 ハケの使い方、塗布の仕方、スライスの取り方		
5~ 6	カラー実習グレイ③	ウィッグにてトレーニングクリーム塗布。 均一な塗布量。チェックの仕方。優しく丁寧にきれいな仕事を目指す		
7~ 8	カラー実習ファッション①	理論。ウィッグにてトレーニングクリーム塗布。 ハケの使い方、塗布の仕方、スライスの取り方		
9~ 10	カラー実習ファッション②	ウィッグにてトレーニングクリーム塗布。 均一な塗布量。チェックの仕方。優しく丁寧にきれいな仕事を目指す		
11~ 12	パーマ実習①	ウィッグにてパーマ。ヘルプ、薬液塗布		
13~ 14	パーマ実習②	ウィッグにてパーマ。ヘルプ、薬液塗布		
15~ 16	学外実習(導入)	サロン実習に向かうための心構え、最低限必要なスキルについてチェックする。		
17~ 20	学外実習(1日目)	サロンワークを通じて美容師の現場の仕事について理解を深める。重点項目として挨拶、笑顔を心がける		
21~ 24	学外実習(2日目)	サロンワークを通じて美容師の現場の仕事について理解を深める。重点項目として敬語の使い方を心がける		
25~ 28	学外実習(3日目)	サロンワークを通じて美容師の現場の仕事について理解を深める。重点項目として積極性・チームワークを意識する		

回	テ ー マ	内 容		
29～ 30	学外実習振り返り	学外実習の振り返りから、今後の自分の課題を把握する。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
自作教材（導入プリント） 研修日誌		サロン評価 研修日誌	50.0% 50.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
(総合) 共通技術 (後期)		美容学科/1年	2021/後期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	泉谷愛子/表康子
授業の概要				
<p>1-1~1-10 まつ毛エクステンション…まつ毛エクステンションについての基礎知識を学修。衛生管理を知ることで、美容技術者としての責任と、お客様の目元を触らせていただくという意識を育む。</p> <p>2-1~2-10 ネイル…サロンワークで通用するネイルケア、ネイルアートに関する技術及び知識を学修する。</p> <p>3-1~3-10 スタイリングマップ…骨格や肌の色に合わせたデザインを学修し、お客様への提案力を身につけることにより、自己の美容に対する意識を高め、業界から必要とされる美容人になる知識の習得を目指します。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>1-1~1-10 まつ毛エクステンション…アイリストとしての最低限の理論を学び、正しい姿勢が身につく</p> <p>2-1~2-10 ネイル…ネイリスト技能3級検定合格の知識と技能が身につく</p> <p>3-1~3-10 スタイリングマップ…スタイリングマップ検定の取得。お客様に最適なスタイリングを提案できるようになり、お客様の満足度を高める知識が身につく</p>				
実務経験有無	実務経験内容			
有	泉谷、表はサロンで20年以上、サロンの運営及び経営に従事する			
時間外に必要な学修				
実習の前後には予習復習をして習熟を図る				
回	テーマ	内容		
1-1~ 1-2	まつ毛エクステンションの概論①	美容技術としてのまつ毛エクステンションの歴史、近年のトラブルの事例を学修する。		
1-3~ 1-4	まつ毛エクステンションの概論②	まつ毛エクステンションの道具と薬剤（グルー）について説明できる。		
1-5~ 1-6	アレルギーについて	ホルムアルデヒド等の有害物質の発生について説明できる。		
1-7~ 1-8	実習①	エクステンションの取り扱いやツイザーの使用方法を学修する。		
1-9~ 1-10	実習② 確認テスト1	エクステンション装着やリムービングの技術を学修する。		
2-1~ 2-2	ネイル教材配布・説明・検定について	ネイルの需要・教材内容の把握・検定の必要性など		
2-3~ 2-4	基本手順①	ファイリング・カットスタイル・ウッドスティック削り		
2-5~ 2-6	基本手順②	ネイルの技術体系・爪の構造と働き・クリーンナップ		

回	テ ー マ	内 容		
2-7~ 2-8	基本手順③	ネイルの歴史・クリーンナップ（ニッパー）		
2-9~ 2-10	基本手順④ 確認テスト2	カラーリング 確認テスト		
3-1~ 3-4	スタイリングマップセルフチェック	好きな色、形、素材、スタイリングイメージのグループを学修する。		
3-5~ 3-8	物、人の分析分類 内面分析分類	色の理論、似合わせ、形の理論、似合わせを学び提案の幅を学修する。思考、言動の分析・分類。内面も分析する事で異なる視点からの似合わせを提案し学修する。		
3-9~ 3-10	スタイリングマップの総まとめ	総合的に演習を行うことでの振り返りと確認テスト		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
まつ毛エクステンション…美容技術理論2 （日本理容美容教育センター監修） ネイル…美容技術理論2（日本理容美容教育センター監修） スタイリングマップ…スタイリングマップ 検定テキスト		ネイルテスト 確認テスト2	50.0% 50.0%	

科目名 (総合) カット応用 I (後期)		学科/学年 美容学科 (ヘアスタイリスト)/1年	年度/時期 2023/後期	授業形態 実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	選択	表康子/滝口大輔/水本健一
授業の概要				
日本のトップ技術を、野沢道生から学ぶ。 世界で活躍するヘアプロデューサー、野沢道生が完全監修した8スタイルのカット技術テキストを使用し、野沢道生本人から直接指導を受けられます。 8スタイルのカット技術をマスターし、受講後は初級スタイリストとしてディプロマが授与されます。				
授業終了時の到達目標				
1年次、8スタイルの中の4スタイルのカットができる（スタイルの1つワンレングスは別科目で履修）。 その4スタイルのスタイリングができる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		表・滝口はサロンで20年以上、サロンの運営及び経営に従事する 水本は美容サロンの店長として5年以上サロンの運営及び経営に従事する。		
時間外に必要な学修				
実習の前後には予習復習をして習熟を図る				
回	テーマ	内容		
1~2	ラウンドグラデーション①	ラウンドグラデーションの構成、切り方について学修する。 デモンストレーションを見て実習を行う（ウイッグ①）。		
3~4	ラウンドグラデーション② 野沢ゼミ	野沢道生指導のもと実習を行う（ウイッグ②）。		
5~6	マッシュ① ラウンドグラデーション③	ラウンドグラデーションの復習。 マッシュの構成、切り方について学修する。 デモンストレーションを見て実習を行う（ウイッグ③）。		
7~8	マッシュ② 野沢ゼミ	野沢道生指導のもと実習を行う（ウイッグ④）。		
9~10	ショートレイヤー① マッシュ③	マッシュの復習。 ショートレイヤーの構成、切り方について学修する。 デモンストレーションを見て実習を行う（ウイッグ⑤）。		
11~12	ショートレイヤー② 野沢ゼミ	野沢道生指導のもと実習を行う（ウイッグ⑥）。		
13~14	マッシュ④ ショートレイヤー③	初級スタイリスト検定に向けて難易度の高いマッシュとショートレイヤーを復習（ウイッグ⑦）。		
15	初級スタイリスト検定	履修した4スタイルの中から1スタイルが検定課題となる（ウイッグ⑧）。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
野沢テキスト（KBG出版）		授業態度 実習・実技評価	30.0% 70.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
(総合) アシスタント実務 I (後期)		美容学科 (ヘアスタイリスト)/1年	2023/後期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	45回	60単位時間	選択	表康子/水本健一
授業の概要				
美容師の仕事といえはまずはアシスタントもスタイリストも共通するのがサロンでの業務です。スタイリストは業務を全て一人でこなすのに対し、アシスタントはスタイリストのサポート役にまわります。サロンでの1日を知る。				
授業終了時の到達目標				
接客業務、特にアシスタントの業務内容を理解し、実際の場で活用できる。お客様に対する気配りの在り方が身に付く。				
実務経験有無	実務経験内容			
有	表はサロンで20年以上、サロンの運営及び経営に従事する 水本は美容サロンの店長として5年以上サロンの運営及び経営に従事する。			
時間外に必要な学修				
実習の前には予習復習をして習熟を図る				
回	テーマ	内 容		
1~ 2	学内サロンオープンに向けて①	ブライダル実務合同、ディスカッション アシスタントとは		
3~ 4	学内サロンオープンに向けて②	サロンワーク基礎復習		
5~ 6	学内サロンオープンに向けて③	スタイリスト専攻ゴール説明 内容提示、ルール説明。サイドシャンプー		
7~ 8	学内サロンオープンに向けて④	サロン決め、コンセプトについて		
9~ 10	学内サロンオープンに向けて⑤	接客ロープレ・相モデル サイドシャンプー、ドライ、ブロー		
11~ 12	学内サロンオープンに向けて⑥	接客ロープレ・相モデル サイドシャンプー、ドライ、ブロー		
13~ 14	学内サロンオープンに向けて⑦	接客ロープレ・レセプション(お出迎え・お見送り) 相モデル・サイドシャンプー、ドライ、ブロー		
15~ 16	学内サロンオープンに向けて⑧	接客ロープレ・相モデル ヘッドスパ(頭のつぼについて)ドライ、ブロー		
17~ 18	学内サロンオープンに向けて⑨	接客ロープレ・相モデル ヘッドスパ、サイドシャンプー、ドライ、ブロー		
19~ 20	学内サロンオープンに向けて⑩	接客ロープレ・レセプション~お見送りまで 相モデルヘッドスパ、サイドシャンプー、ドライ、ブロー		

回	テーマ	内容		
21～ 22	学内サロンオープンに向けて⑪	接客ロープレ・相モデル ヘッドスパ、サイドシャンプー、ドライ、ブロー		
23～ 24	学内サロンオープンに向けて⑫	接客ロープレ・相モデル ヘッドスパ、サイドシャンプー、ドライ、ブロー		
25～ 26	学内サロンオープンに向けて⑬	接客ロープレ・相モデル ヘッドスパ、サイドシャンプー、ドライ、ブロー		
27～ 28	学内サロンオープンに向けて⑭	接客ロープレ・相モデル ヘッドスパ、サイドシャンプー、ドライ、ブロー		
29～ 30	美容科教員チェック	サロンオープンできるかチェック・2チーム		
31～ 32	美容科教員チェック	サロンオープンできるかチェック・2チーム		
33～ 34	学内サロンオープンに向けて⑮	美容科教員チェックの振り返り・改善点・課題を検討する		
35～ 36	アイロンワーク、アレンジ	コテの基本的な使い方を修得し、ウィッグ使用して内巻き、 外巻きをアレンジをマスターする。		
37～ 38	店販の知識	商材の知識を学修する。		
39～ 40	学内サロンオープンに向けて⑯	学内サロンオープン①		
41～ 42	学内サロンオープンに向けて⑰	学内サロンオープン②		
43～ 44	学内サロンオープンに向けて⑱	学内サロンオープン③		
45	学内サロンオープンに向けて⑲	学内サロンオープン④		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
公益財団法人 日本理容美容教育センター 美容技術理論 1		授業態度 実習・実技評価	30.0% 70.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
(総合) ブライダルスタイリスト実務Ⅰ (後期)		美容学科 (ブライダル・ヘアメイク)/1年	2022/後期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	選択	泉谷 愛子
授業の概要				
ヘアメイクを志す者としてメイク技術の応用編をを学修する 外部講師による婚礼美容技術を習得し、作品としてフォト撮影をおこなう コンセプトに基づいてお客様にブライダルヘアメイクをご提案できる技術を身につける				
授業終了時の到達目標				
メイクの応用技術を身につける 婚礼美容技術を身に付け、ギフトウェディングで生かされるように作品撮りをしていく。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		サロンで20年近く、サロンの運営及び経営に従事する		
時間外に必要な学修				
実習の前後には予習復習をして習熟を図る				
回	テーマ	内 容		
1~ 2	洋装花嫁スタイル①	コテの使い方、巻き方、ホットカーラーの巻き方 洋装花嫁スタイルを作る		
3~ 4	洋装花嫁スタイル② 前回の復習	コテの使い方、巻き方、ホットカーラーの巻き方 洋装花嫁スタイルを作る		
5~ 6	和装花嫁スタイル①	逆毛の立て方、面のあるスタイルを作る すき毛の扱い		
7~ 8	和装花嫁スタイル② 前回の復習	逆毛の立て方、面のあるスタイルを作る 和装花嫁スタイルを作る		
9~ 10	人頭でのアレンジ技術 今までの復習	相モデルアレンジヘアを学修する 人頭で実践練習		
11~ 12	コンセプトウェディングについて	コンセプトウェディングとは何かを学修し、どのような事例があるのかを研究する。		
13~ 14	コンセプト設定	チームごとに自分たちが作る作品のコンセプトを設計する。		
15~ 16	コンセプトの具現化	設計したコンセプトに基づき、試作、作品作りのための準備行う。		
17~ 18	作品作り・写真撮り	設計したコンセプトに基づく作品作り。 フォトウェディング形式で写真撮影		
19~ 20	作品発表の準備	チームごとに作品発表に向けてプレゼン材料を整える (模造紙、スライドショー、映像などなど)		
21~ 22	フォト撮影とフォトブック作り③	チームごとに自分たちの作品についての発表を行う。 発表に対して教職員が審査を行う。		

回	テ ー マ	内 容		
23～ 24	カット応用①	開閉練習とはさみに慣れる		
25～ 26	カット応用②	開閉練習とはさみに慣れる ワンリングスカット		
27～ 28	カット応用③	開閉練習とはさみに慣れる セイムレイヤー		
29～ 30	学修の総まとめ	ここまでの学習のまとめを行う		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		実習・実技評価 取組姿勢	70.0% 30.0%	

				作成者：濱中 佑子
科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
(総合)メイク応用 I		美容学科 1年	2023/後期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	選択	濱中 佑子
授業の概要				
<p>メイクアップアーティストとして求められるサービス（奉仕・貢献・世話）や、ホスピタリティ（思いやり・やさしさ・歓待）、マナーに関する基本を理解する。・人間性の構築、技術スキルの基本的な流れを学び、基礎的理論の理解、フェイシャルやメイクの技術を取得した総合力を養う。</p>				
到達目標				
<p>相手に合わせたスキントイプ別の状態把握、イメージメイクアップ、メイクアップカルテの作成が出来る。・アーティストとして現場に立つことを踏まえ、プロとしての意識を持つことや接客に取り組む姿勢の自覚を持つことが出来る。・ICAM Lv.1 ICAMベーシックコースの取得が出来る。</p>				
回	テーマ	学修内容		
1～2	・メイクアップの必要性、技術者としての心得・メイクアップ前の下準備と片付けについて・道具の手入れ・ベーシックメイクアップについて・メイクアップの基本プロセス・顔分析	ホスピタリティ、マナーに関する基本を理解する。道具の大切さ、衛生面を徹底的に習得。顔の理想的なバランス、パーツバランスと印象、輪郭と印象を理解		
3～4	皮膚の基礎知識・色の基礎知識。 パーソナルカラー	皮膚の基礎知識、メイクアップに必要な色の基礎知識を習得・シーズンカラー別パーソナルタイプによるメイクアップポイントを理解する。		
5～6	・メイクアップ前のスキンケア、クレンジング法・ベースメイクアップ理論	スキンケアやクレンジング方法、ベースメイクアップの流れや種類を習得		
7～8	ベースメイクアップ① 実践	相手への配慮、手順、肌の色調、皮膚感を美しく整えることを習得		
9～10	アイメイクアップ① 理論、実践	アイメイクアップの手順や種類を習得・4種類の基本アイカラーテクニックを習得		
11～12	アイメイクアップ② 実践 アイブロウ 理論、実践	アイライン、マスカラ、ビューラー、アイブロウの形やラインを美しく仕上げる手順や種類、基本テクニックを習得		
13～14	チーク・リップ / ハイライト・シェーディング理論、実践・トータルバランス	シーク、リップ、ハイライト、シェーディングの手順や種類を習得し基本テクニック実践		
15～16	フルメイクアップ①	ベーシックメイクアップを習得		
17～18	フルメイクアップ②	ポイントの強弱、メリハリのあるメイクアップを習得		
19～20	曲線・直線バリエーション①	曲線的なメイクテクニックが与える印象と効果を理解する。		
21～22	曲線・直線バリエーション②	直線的なメイクテクニックが与える印象と効果を理解する。		
23～24	ベーシックメイクアップ実践①	イメージメイクアップ(可愛い・キュート)のメイクの特徴を学修する。		
25～26	ベーシックメイクアップ実践②	イメージメイクアップ(優雅・セクシー)のメイクの特徴を学修する。		
27～28	ベーシックメイクアップ実践③	イメージメイクアップ(優雅・セクシー)のメイクの特徴を学修する。		

29~ 30	ベーシックメイクアップ実践④	イメージメイクアップ（知的・クール）のメイクの特徴を学修する。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・ ICAM国際ライセンス メイクアップテキスト 【一般財団法人 ICAM日本支部】		<ul style="list-style-type: none"> ・ 期末試験 ・ 授業態度 ・ 確認テスト 	40.0% 30.0% 30.0%	各講義で実施した内容をノートやプリントを使って復習。各日、メイク練習ごとに言われたアドバイスをノートに記録する。

科目名 (美容演習)美容演習Ⅰ (前期)		学科/学年 美容学科/1年	年度/時期 2023/前期	授業形態 演習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	泉谷愛子/田中美紀/ 表康子/水本健一/滝口大輔
授業の概要				
副校長 HANABUSA代表山本公生 など外部講師による特別授業。 サロンスタイルのセットの基礎、インスピレーションにあふれたクリエイティブなセットを直々に伝授。 サロンワークや撮影、ヘアショーにも繋がる現場のテクニックを、余すことなく現役美容師が教える。				
授業終了時の到達目標				
サロンスタイルのセットの基本を習得し、インスピレーションを生かしたクリエイティブな作品を作り出すことができる。 ヘアショー、サロンワークなどどんな状況でも自分の思い描いたイメージを形にできる。 美容の楽しさを実感できる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		田中は美容サロンで5年以上運営及び経営に従事する 泉谷・表は美容サロンで20年近く、運営及び経営に従事する 水本は美容サロンの店長として5年以上サロンの運営及び経営に従事する。		
時間外に必要な学修				
実習の前後には予習復習をして習熟を図る				
回	テーマ	内容		
1~2	クリエイティブヘア①山本副校長によるデモンストレーション	クリエイティブスタイルのヘアアレンジのデモンストレーション。自分のインスピレーションを具体化させるコツを学修する。		
3~4	クリエイティブヘア②宮村副校長によるデモンストレーション	サロンスタイルのヘアアレンジのデモンストレーション コテの使い方などを学ぶ		
5~6	クリエイティブヘア③業界講師によるデモンストレーション	作品作りのコツとその技術の特徴を学ぶ		
7~8	クリエイティブヘア④業界講師によるデモンストレーション	作品作りのコツとその技術の特徴を学ぶ		
9~10	クリエイティブヘア⑤業界講師によるデモンストレーション	作品作りのコツとその技術の特徴を学ぶ		
11~12	クリエイティブヘア復習	スタイルを作りながらここまでの復習イメージを作品に落とし込む手法を学ぶ。		
13~15	クリエイティブヘアコンテスト	これまでの学習の成果をコンテストで実施		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
アップ道具一式、スタイリング剤、コテ		授業態度 実習・実技評価	50.0% 50.0%	

科目名 (美容演習)美容演習Ⅰ (後期)		学科/学年 美容学科/1年	年度/時期 2023/後期	授業形態 演習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	30単位時間	必須	泉谷愛子/田中美紀/ 表康子/水本健一/滝口大輔
授業の概要				
副校長 HANABUSA代表山本公生 など外部講師による特別授業。 サロンスタイルのセットの基礎、インスピレーションにあふれたクリエイティブなセットを直々に伝授。 サロンワークや撮影、ヘアショーにも繋がる現場のテクニックを、余すことなく現役美容師が教える。				
授業終了時の到達目標				
サロンスタイルのセットの基本を習得し、インスピレーションを生かしたクリエイティブな作品を作り出すことができる。 ヘアショー、サロンワークなどどんな状況でも自分の思い描いたイメージを形にできる。 美容の楽しさを実感できる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		田中は美容サロンで5年以上運営及び経営に従事する 泉谷・表は美容サロンで20年近く、運営及び経営に従事する 水本は美容サロンの店長として5年以上サロンの運営及び経営に従事する。		
時間外に必要な学修				
実習の前には予習復習をして習熟を図る				
回	テーマ	内 容		
1~ 2	クリエイティブヘア①山本副校長によるデモンストレーション	クリエイティブスタイルのヘアアレンジのデモンストレーション。自分のインスピレーションを具体化させるコツを学修する。		
3~ 4	クリエイティブヘア②宮村副校長によるデモンストレーション	サロンスタイルのヘアアレンジのデモンストレーション コテの使い方などを学ぶ		
5~ 6	クリエイティブヘア③業界講師によるデモンストレーション	作品作りのコツとその技術の特徴を学ぶ		
7~ 8	クリエイティブヘア④業界講師によるデモンストレーション	作品作りのコツとその技術の特徴を学ぶ		
9~ 10	クリエイティブヘア⑤業界講師によるデモンストレーション	作品作りのコツとその技術の特徴を学ぶ		
11~ 12	クリエイティブヘア⑥業界講師によるデモンストレーション	作品作りのコツとその技術の特徴を学ぶ		
13~ 14	クリエイティブヘア⑦業界講師によるデモンストレーション	作品作りのコツとその技術の特徴を学ぶ		
15~ 16	クリエイティブヘア⑦業界講師によるデモンストレーション	作品作りのコツとその技術の特徴を学ぶ		
17~ 18	フォトクリエイション	フォト作品の撮影のコツを学修する。		
19~ 20	フォトクリエイション②	サロンスタイルフォト作品撮影① サロンスタイルのフォト作品を作り、撮影する		

回	テーマ	内容		
21～ 22	フォトクリエイション③	サロンスタイルフォト作品撮影② サロンスタイルのフォト作品を作り、撮影する		
23～ 24	フォトクリエイション④	サロンスタイルフォト作品撮影③ サロンスタイルのフォト作品を作り、撮影する		
25～ 26	フォトクリエイション⑤	サロンスタイルフォト作品撮影④ サロンスタイルのフォト作品を作り、撮影する		
27～ 28	フォトクリエイション⑥	サロンスタイルフォト作品撮影⑤ サロンスタイルのフォト作品を作り、撮影する		
29～ 30	学修の総まとめ	ここまでの学習のまとめを行う		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
アップ道具一式、スタイリング剤、コテ		授業態度 実習・実技評価	30.0% 70.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
キャリアデザイン		美容学科/1年	2023/通年	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	作本 智美
授業の概要				
<p>将来の就職活動に向けて、基礎となる自身の目標設定を行います。また、後期からの就職活動に向けて業界やそこに属する企業についての知識を増やします。</p> <p>個人ワークやグループワークを通じて個人の考えをまとめること、チームで話し合いをすること、またその中でリーダーシップやプレゼンテーション能力についても併せて考え、実践していきます。</p>				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 目指す美容師像の設定ができる ・ 2年間の自分自身の目標を設定できる ・ 就職活動に向けて広い視野でサロンの情報を集められるようになる 				
実務経験有無	実務経験内容			
無				
時間外に必要な学修				
講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること				
回	テーマ	内容		
1	私が目指す美容師像	現在の自分がどういう美容師になりたいかを描く。 個人ワークからグループワークを実施して考える。		
2	売れっ子美容師の条件とは	理想の美容師増とは？理想の美容師増に近づくためにはどのようなことを身につける必要があるかを考える		
3	なぜ働くかを考える	そもそも人はなぜ働くか？自分自身はなぜ働くかを考える		
4	サロンが求める人材について考える	サロンが求める人材とは？求められる人材になるためには？を考える		
5	美容業界について	美容業界とはどのような業界なのかを学ぶ		
6	SNSの活用について	美容師としてのSNSの活用について学修する		
7	サロン見学について	夏休みのサロン見学のために見るべきポイント 電話のかけ方、希望サロン調べ		
8	ビジネスマナーの基礎①	社会人になるとは 基本動作、お辞儀の仕方を学修する		
9	ビジネスマナーの基礎②	言葉遣い 社会人としての敬語の使い方、電話の応対を学修する		
10	自己分析①	自分自身のこれまでを振り返る		
11	自己分析②・他己分析	自分自身の長所・短所を分析する。		

回	テ ー マ	内 容		
12	自己分析③	自分自身の将来のキャリアプランを考える		
13	自己分析④	自分の強み、アピールポイントを練り上げる		
14	履歴書作成①	履歴書の作成方法について学修する。 学歴等の作成を行う。		
15	履歴書作成②	履歴書における自己PR部分の作成		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
就職活動の教科書（株式会社エイドクリエイツ）		課題レポート 期末試験	50.0% 50.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
接遇・マナー		美容学科/1年	2023/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	小島 光世
授業の概要				
この授業では、ビューティ・コーディネーターとしてのホスピタリティと仕事のスキル、ビューティ・コーディネーターの仕事について、ビューティ・コーディネーターに必要な美容知識を学修します。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・ビューティ・コーディネーターとして必要なホスピタリティに関する知識を修得する。 ・サロンにおける基本的な接客のマナーを身に付ける。 ・サロンにおけるフロアマネジメントについて理解する。 ・接客をする上で必要な美容知識を修得する。 				
実務経験有無	実務経験内容			
有	美容サロンで20年近く勤務し、また5年以上店長として運営及び経営に従事する。			
時間外に必要な学修				
テキストと各授業の終わりに実施する確認テストでしっかりと復習を実施してください。				
回	テーマ	内容		
1	「ビューティ・コーディネーターの仕事とは」美容業におけるビジネスキャリア	社会人としての職業意識や仕事の取り組み方を学び、社会人としての基本的な考えと美容業で働くということについて理解を深める		
2	サロンにおけるビジネスキャリア	社会人として、美容業界ではたらくことの心構えについて学ぶ		
3	ホスピタリティを発揮するビジネスコミュニケーション	ホスピタリティとそれを発揮するビジネスコミュニケーションについて学ぶ		
4	サロンでの社内のコミュニケーション	職場内のコミュニケーションと職場での基本的なマナー・ルールについて学ぶ		
5	接客の基本と言葉遣い、電話対応の基本	接客の基本的なマナー、言葉遣い、電話対応の基本を学習し、ロールプレイングなどを通して習得を目指す。		
6	名刺交換とサロンのメディア活用	名刺交換の基本とサロンではどのようなメディアを活用していくかを学習し、理解を求める		
7	ビューティ・コーディネーターの仕事①	ビューティ・コーディネーターの仕事にはどのようなものがあるかを学ぶ		
8	ビューティ・コーディネーターの仕事②	ビューティ・コーディネーターとしてお客様に提案するための美意識やファッションについて学ぶ		
9	ビューティ・コーディネーターの美容知識①	ビューティ・コーディネーターとして最低限備わるべき美容基礎理論や美容メニューの基礎知識などを学ぶ		
10	ビューティ・コーディネーターの美容知識②	ビューティ・コーディネーターとして最低限備わるべき美容基礎理論や美容メニューの基礎知識などを学ぶ		
11	問題演習①	問題演習を通じてこれまで学んできた学習への理解を深める		

回	テ ー マ	内 容		
12	問題演習②	問題演習を通じてこれまで学んできた学習への理解を深める		
13	ビューティ・コーディネーターの仕事実践①	ビューティ・コーディネーターの仕事を理解し、実際に接客、カウンセリングを行い理解を深める		
14	ビューティ・コーディネーターの仕事実践②	ビューティ・コーディネーターの仕事を理解し、実際に接客、カウンセリングを行い理解を深める		
15	総まとめと受験対策	美容業で働くことを理解し、実務検定試験にむけて理解を深める		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
jbcaビューティビジネス実務検定試験テキスト		期末試験 確認テスト	70.0% 30.0%	